突破力

《ゴルフのメジャー大会》

◆　　詳細までは承知していなくてイメージ的な話になりますが，日本からのゴルフプレーヤーのトップレベルの人たちが何度も挑戦しながら1977年の「全米女子プロ」優勝の樋口久子プロ以来誕生していなかったメジャー大会での優勝を，比較的最近，渋野日向子プロと松山英樹プロが達成しています。渋野日向子プロはメジャー初挑戦での優勝，松山英樹プロは30回を越える挑戦での優勝とのことです。その意義を強く感じる人たちは，自分たちがテレビ中継しながらも感極まって言葉を出すことができない時間が何十秒も続いた場面にまでになりました。まさに先人と本人たちの大きな努力と挑戦の前に立ちはだかっていた《大きな壁》を突破できた瞬間のもたらす「感動力」が周りの人たちを包み込んだ瞬間だったのだろうと思います。

◆　6月7日に，笹生優花プロが「全米女子オープン」で畑岡奈紗プロとのプレーオフを制して優勝したとの報が入りました。渋野プロに続く形になり，「道がつく」というのはこういうことなのだろうかと思いました。畑岡プロは2018年「全米女子プロ」に続くメジャーでのプレーオフに続く惜敗となったと報道されていますが，メジャー大会でのプレーオフに臨んだ二人ともに格別な賞賛に値する出来事だと思います。

《突破力》

◆　自分の前に立ちはだかる大きな壁を突破する力については、「大きな壁」の在り方・捉え方に関することと「突破力」の在り方・捉え方に関することの二つの面を考えておく必要があるように思います。

◆　多くの競技者の中から特別に選ばれた選手だけが参加できる「ゴルフのメジャー大会」で優勝することは，外部者からの客観性においても当事者本人の主観性においても「格別に大きな壁」に向き合っていると言えると思いますが，職場での人間関係や日々の自分の在り方について当事者が「大きな壁」だと捉えていることが，必ずしも周りの人から見て「大きな壁」と捉えられるかどうかには，微妙な面があることと思います。

◆　私見になりますが，「大きな壁」は当該者が臨む眼前にある合否を伴う試験，順位・記録を伴う大会など（こちらを【範疇A】とします）だけでなく，職場での仕事の仕方や人間関係の在り方，自分自身の生活の在り方・言動の在り方・心の在り方など（こちらを【範疇B】とします）についても，当事者本人が「大きな壁」として捉えて，それを乗り越えたいと思いながらも，なかなかできなくて悩んだり苦しんでいる場面においては「大きな壁」として捉えるのが良いように思っています。

《「突破力」の背景にあるもの》

◆　【範疇A】の中でも「ゴルフのメジャー大会」での優勝となる「突破力」となると《たぐいまれな才能》に加えて《格別の努力・精進》があったと考えられ，更には《時の運》なども介在したのではなかろうかと思えます。【範疇A】の「突破力」は，その大会・試験などの位置付けや注目度によりその「壁の大きさ」も異なるように思えますが，そこでは，特定の技量など求められるものに明確性があり，その意味では「水準・ランクとしての高さ」があり，「越えるべき壁の高さ」としてのイメージになろうかと思います。種々の資格試験や入学試験など当人にとっては【範疇A】として位置付けられるものも多くあることと思います。

◆　「ゴルフのメジャー大会優勝における突破力」の事例から学べることは多くあると思えるものの，どこに着目するかにもよりますが，私自身の在り方から考えると，私自身に直接的に投影できる要素は乏しく，それほど「一般化」はできないのではなかろうかと思えます。【範疇A】の中でも，格別に高い水準で**《たぐいまれな才能＋格別の努力・精進＋時の運》**という総和イメージだけではなくて，もしかすると**《たぐいまれな才能×格別の努力・精進×時の運》**の相乗的・トータル的なもののようにも思えたりして，まさに次元の違いを感じます。世界的にも競技人口が多く，その中でのトップレベルのメジャー競技大会で「優勝」できる在り方と，そこまでの才能でもなく，通常的な範囲の努力しかしてきていないと思える自分の在り方を《比較する意義》はほとんどないように，率直に思っています。

《機能している基本原理》

◆　こうした格別の技量を有する人たちは，別の分野・領域も含めて考えると，それなりに多くおられることだと思いますし，「格別な賞賛に値する成果」を手に入れられる人たちも多くおられることとは思いますが，私の場合を文字化してみると，《通常範囲の一般的な水準の才能，通常範囲の一般的な努力・精進，時の運》だと思っていて，そこには，《たぐいまれ・格別》という範疇と《通常範囲・一般的》という範疇との厳然とした差異があるように思っています。

◆　そうした《通常範囲・一般的》という範疇でありながらも，自分なりの《才能と努力・精進》はもちろん自分にとって大事なかけがえのない要素や営みであり，それらを自分なりの良さと思える長所や才能として受けとめ，自分としてできる努力・精進は〔一定程度には〕してきたように思います。そうした自分の位置からの【範疇A】に対する突破力の在り方，【範疇B】に対する突破力の捉え方も，自分なりにあります。

スポーツ競技，教科学力，分野学力，表現力などの特定の技量に基づいて，その場面参加者の中での一位や一定の順位内に入って，「優勝」「合格」　などの栄誉を手にすること。

**範**

**疇**

**A**

**・**

**突破力**

**【範疇Aの突破力】**　《通常範囲の一般的な水準の才能，通常範囲の一般的な努力・精進，時の運》の範囲にありながらも，《通常範囲の一般的な努力・精進》については，自分としての計画的な努力をどのような形で，どの程度の実践度としてできるかどうかが大きな要素となる。

⇒　それには，方策やスケジュール管理を含めた《計画の「見える化」》が必須であり，同時に，その「大きな壁」の向こう側にあるもの（目的）を明確に捉えておくことが重要で，「大きな壁」を越えること自体を最終目標にせずに，「通過すべき節目」の目標として真摯に向き合うことが大事になる。

⇒　可変性が高いのは《努力・精進》であり，「計画的で工夫のある努力・精進」によって「隠れていた才能」の開花も期待できる面があることと思われます。

職場での仕事の仕方や人間関係の在り方，自分自身の生活の在り方・言動の在り方・心の在り方などについて，目の前の「大きな壁」として感じていて，それを乗り越えたいと思いながらもなかなかできなくて悩んだり苦しんでいる状況への対応。

**範**

**疇**

**B**

**・**

**突破力**

【範疇Bの突破力】　こうした【範疇B】に属することについて，「大きな壁」と捉えてしまうことから，

視点・考え方を外せるかどうかがポイントになります。

①　状況の「見える化」　・・・　自分のこと，仕事の仕方のこと，人間関係のことなど，現在の状

況を，文字化したり図式化したりするなどの「見える化」を試みる。〔図式化①〕

⓶　〔図式①〕について，他者からの見方，組織やシステムの論理，相手の考え方など，異なる

視点，別角度からの捉え直しを文字化して書き込む。〔図式化②〕

③　〔図式②〕について，「自分が実現したい姿」と，それに向けての手順・要素などを文字化し

て書き込む。〔図式化③〕

⇒　ここまで，文字化・図式化できると，最後のカギは〔決断力・実行力〕になります。

⇒　〔★こだわりメモ＞【23】対応判断の構図〕に《決断の意義》を述べています。

⇒　見ると跳べなくなるということで〔見る前に跳べ！〕という言葉がありますが，〔良く見て，決断

する〕という方式が私としては良いように思っています。

《殻を破る》

◆　周りと自分との位置関係で，その状況を変えたいと思った場合に，突破する一つの手法に「自分が変わる」という考え方があります。「自分が変わる」という考え方の中には　上述の〔図式化①～③〕の手順が，「見える化」のところがイメージとして処理されている可能性も含めて，内包されているように思えます。こうした経過を経て，実践的な在り方までに明確な違いが漂うようになると，周りの人たちから見ると「殻を破った！」ように捉えられることもあることと思います。

◆　《たぐいまれ・格別》という範疇の栄誉を手に入れる人たちと《通常範囲・一般的》という範疇の私たちとの接点は，その限定された技量の高さや努力・精進には及ばないものの《突破力》の原理的なこと・背景的なことには思いが及ぶ面があることから，そうした「突破の場面」に共感したりすることができるのだと思えますし，お互いに「大きな壁」を認識し合えていることからの「殻を破る！」営みに共感し合えるのだろうと思っています。

《まとめ的に》

◆　教育の世界での挨拶・式辞などで，児童生徒に「皆さんには無限の可能性があります！」という「輝かしいメッセージ」を贈る場面がしばしばあります。青年期を前にした格別の成長期にある児童生徒には，これから伸びる才能もあり，気付かれない眠った才能もあることと思いますし，どのような努力・精進を続けることができる人材に育つかどうかもこれからの面が大きいと思います。その意味では，まさしく「皆さんには，無限の可能性があります！」ということだと思います。

◆　同時に，それは「可能性」でしかなく，一つを選べば多くのことを捨て去ることになるのであり，《選び取る》ことに連動する才能の開花や努力・精進の在り方までを一体的にイメージしておくことも大事なことのように思います。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（令和３年6月9日）